

## シンプレオ フェンス SY1型 自由柱タイプ ルシアス フェンス F04型 自由柱タイプ

本説明書は専門知識を有する業者様向けの内容となっております。  
誤った方法で作業を行うと、不具合につながるおそれがあります。  
作業には危険が伴いますので、専門知識を有する業者様が行ってください。

このたびは、YKK AP 商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

### 組立・施工の前に…

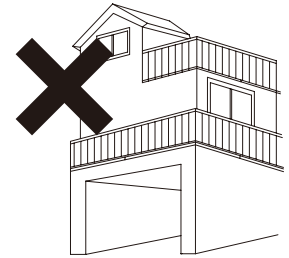
商品を正しく組立・施工していただくために、説明書の内容をご確認ください。  
商品の組立・施工については、必ず本説明書に従ってください。

### 組立・施工の後に…

取扱説明書・使い方&お手入れガイドブックをお施主様にお渡しください。

### 注意

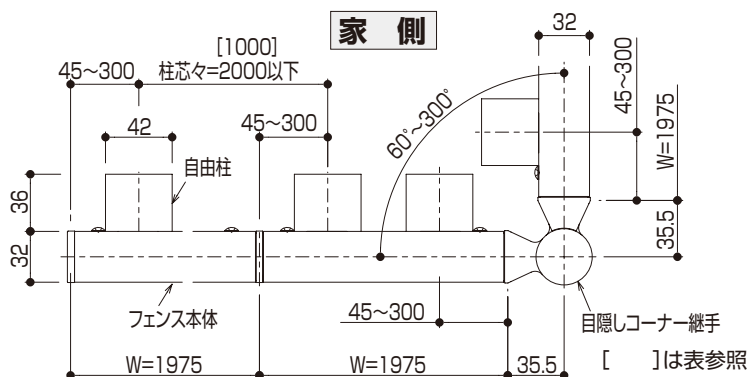
- 本商品は、敷地境界・隣地境界を目的とした一般住宅地外構用です。  
**防護柵や手すりの機能はありません。高低差のある境界やベランダ、廊下、屋上など転落などの重大事故が起きるおそれのある場所には、使用しないでください。**
- T100 耐風圧強度 34m/秒相当仕様をブロックに施工する場合は、**建築用ブロック [JISA5406:2010] の圧縮強さ (記号) 16[C 種] 以上で厚さ 12cm 以上のブロック**で施工してください。



### お願い

- みだりに改造や変更をしないでください。
- 柱の埋込み部分先端には、**柱内部へのモルタル侵入防止のために小口キャップ**が取付けられています。施工時、外さないでください。ブロック穴にあらかじめモルタルを入れ小口キャップなしの柱を差込む施工をした場合、**侵入したモルタルによって柱が腐食膨張するおそれがあり、ブロック割れの原因**になります。
- ブロックに柱を立てる際、ブロックの連結部には柱を立てないでください。
- 柱の埋込み部分の柱内部には、**凍結破損防止のため発泡スチロール**が挿入されています。施工時、抜取らないでください。冬期柱内に侵入した**水が凍結した場合、発泡スチロールなしの柱は膨張しブロック割れの原因**になります。
- 基礎コンクリート (モルタル) には、**腐食性の強い塩素系混和剤 (急結剤など) や強アルカリ系硬化促進剤、海砂などは使用しないでください。**柱の腐食が促進され破損事故につながるおそれがあります。
- **柱のレベル調整は、モルタルが固まる前**に行ってください。固まった後の調整は、柱の強度が著しく低下するおそれがあります。
- 組立は、所定のねじを使用して最後まで締付けてください。締付け不良は事故の原因になります。

## ■寸法図 (単位: mm)



## ■柱ピッチ表

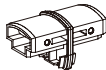


H	耐風圧強度
	34m/秒相当
600	2000以下
800	
1000	1000以下
1200	

### お願い

- **端部、連結部からの柱位置は45~300mmの範囲**で施工してください。  
(連結部に柱は立てられません。)
- **柱ピッチは表に従って施工**してください。  
(フェンス本体1枚に最低1本、1000以下の場合、最低2本必要です。)
- **コーナー端部からの柱位置は、45~300mmの範囲**でそれぞれのフェンスに各1本施工してください。

## ■同梱一覧

### ■フェンス本体 HFE-SY1-20□□、UFE-F04-20□□-XA

姿 図	—			
部材・部品名	フェンス本体	上胴縁連結具	下胴縁連結具	小トラスタッピンねじ1種 (φ4×10)
品 番	—	<b>3K-30315</b>	<b>3K-30316</b>	<b>AM-4010</b>
個 数	1	1	1	4



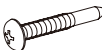


### ■柱・部品

#### 自由柱 HFE-PB1-□□N、HFE-PB3-10N


姿 図	—
部材・部品名	自由柱
品 番	—
個 数	1

\* 枠内が本商品の同梱部材となります。  
それ以外は別売となります。

### 胴縁固定金具 HFE-B1

姿 図					
部材・部品名	上部固定金具	下胴縁固定金具	中トラスタッピンねじ2種 (φ4×25)	小トラスタッピンねじ (φ4×10)	注意ラベル
品 番	<b>6K-14808</b>	<b>6K-14348</b>	<b>BM-4025GD8</b>	<b>EM-4010</b>	<b>2K-42631</b>
個 数	1	1	1	1	1

### 目隠しコーナー継手 HFE-BC3-□□

姿 図	—	
部材・部品名	目隠しコーナー継手	小トラスタッピンねじ1種 (φ4×10)
品 番	—	<b>AM-4010</b>
個 数	1	4

### エンドキャップ HFE-BE7

姿 図				—
部材・部品名	上胴縁キャップ	下胴縁キャップ	小トラスタッピンねじ1種 (φ4×10)	組立・施工 説明書
品 番	<b>3K-30325</b>	<b>3K-30326</b>	<b>AM-4010</b>	—
個 数	2	2	4	1

### 端部カバー HFE-KT11-□□

姿 図	—	—
部材・部品名	たて枠	たて枠カバー
品 番	—	—
個 数	1	1

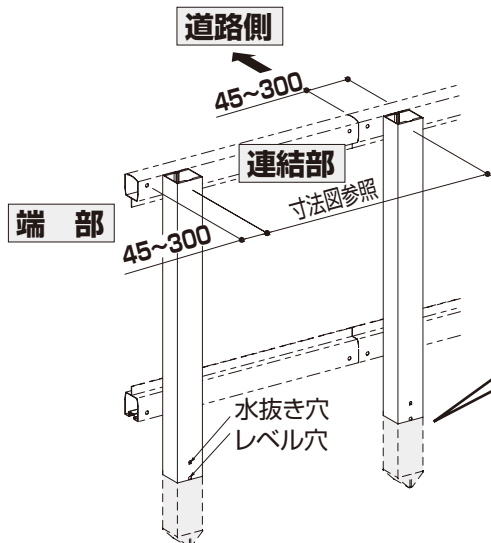
### ■オプション部品 補助柱 HFE-KH

姿 図	—
部材・部品名	補助柱
品 番	—
個 数	1

## ■組立・施工

### 1.柱の施工

フェンス本体を正しく連結するため、柱の間隔、水平、垂直、出入りを確認の上、モルタルで固定してください。

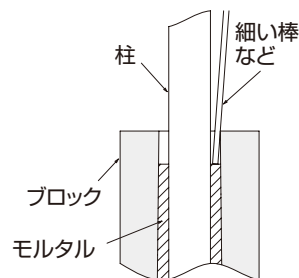
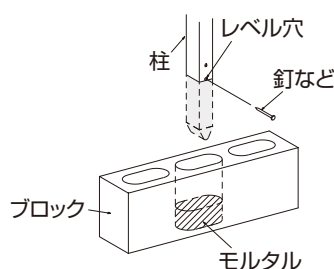


#### お願い

凍結破損防止のため、**水抜き穴は、モルタルなどで塞がないで**ください。

#### ポイント

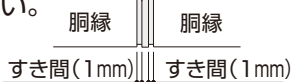
- ブロック穴にあらかじめモルタルを入れ、柱を差込むと施工が容易です。
- 釘などを使用して各柱の高さをそろえてください。
- 細い棒などで突固めながらモルタルを充てんしてください。



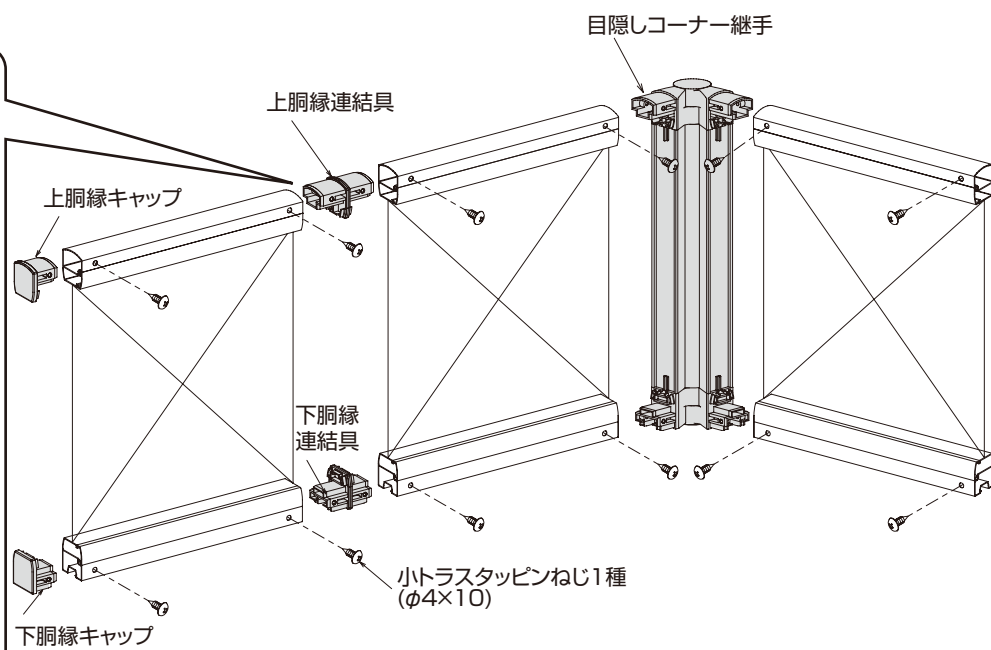
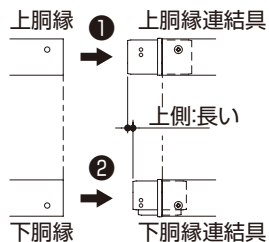
### 2.フェンス本体の連結

#### ポイント

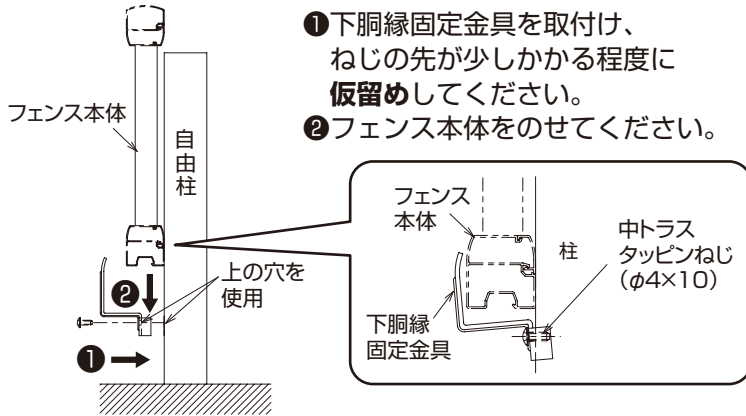
- アルミの熱膨張を考慮し、気温が低いとき(約10℃以下)に施工される場合には、5スパンまたは10mを超えるごとに連結部のすき間を1mmあけてください。



- 連結は上胴縁側から差込むと施工が容易です。



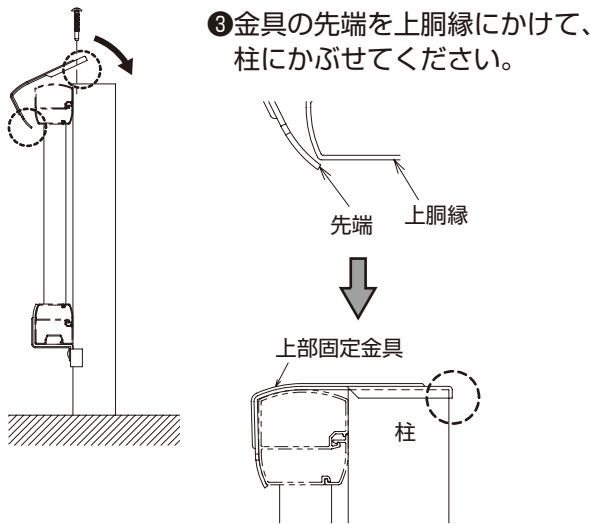
### 3.フェンスの取付



- ① 下脗縁固定金具を取付け、ねじの先が少しかかる程度に仮留めしてください。
- ② フェンス本体をのせてください。

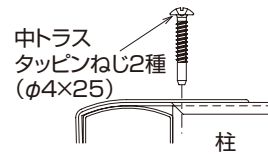
**お願い**

下脗縁固定金具、柱には穴が2つあります。必ず、上の穴に取付けてください。

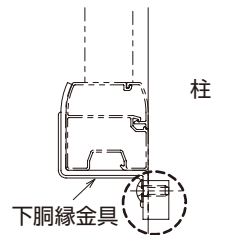


- ③ 金具の先端を上脗縁にかけて、柱にかぶせてください。

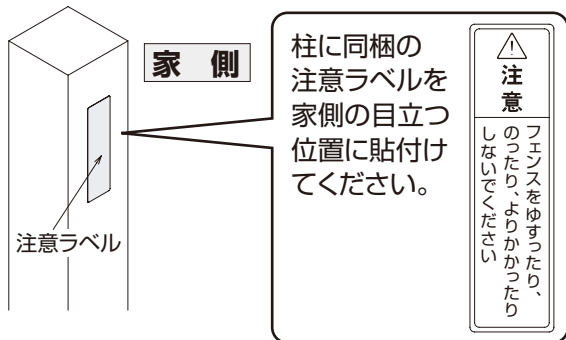
- ④ ねじで固定してください。



- ⑤ 下脗縁固定金具のねじをしっかりと本締めしてください。

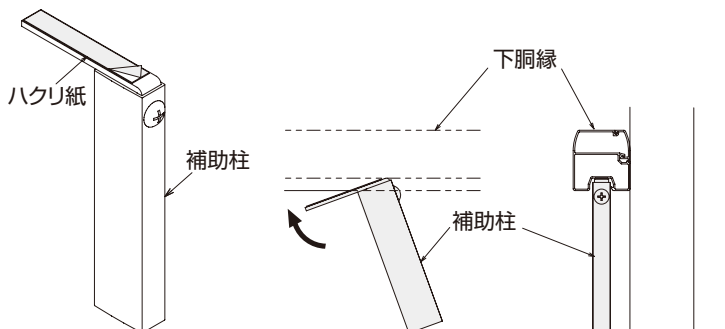


### 4.注意ラベルの貼付



### 5.補助柱(オプション)の取付

- ① 補助柱のハクリ紙をはがしてください。
- ② フェンス本体中央部の下脗縁にはめ込んでください。



# 4 組立・施工

## 6.フェンスの切詰め方法

- 切詰めの際は、必ず端部カバー(HFE-KT11-□□ 1本入)が必要です。切断した余り部分も使用するとき、端部カバーが2本必要となります。
- 切詰めたフェンス本体は端部またはコーナー部側に使用してください。

切断の前に養生テープなどで、上下胴縁・パネルを固定してください。

### ポイント

#### ルシアス フェンス F04型の場合

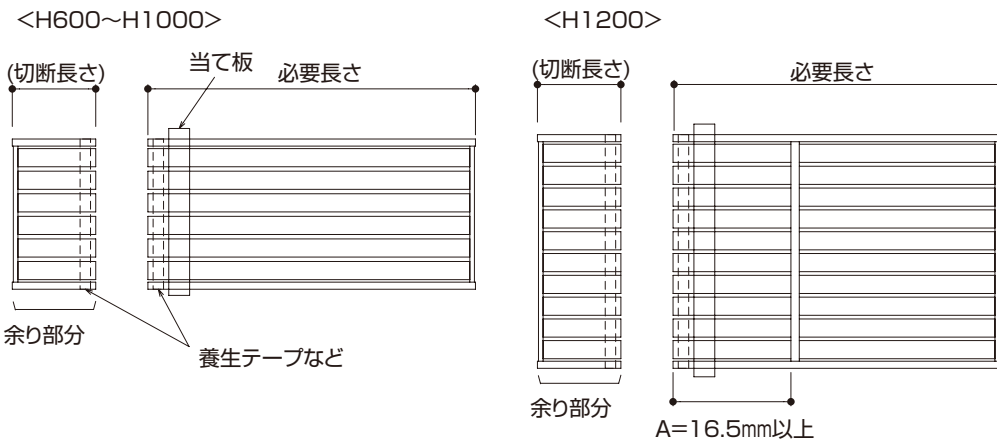
- 切断はチップソーの刃でゆっくり行ってください。
- ラミネートシートにあらかじめカッターなどで切込みを入れることで切断面がきれいに仕上がります。
- 砥石などで切断すると、ラミネートが焼き付きますので砥石での切断は避けてください。

### 1 本体の切断

下図のように必要長さを決め、まっすぐに切断してください。切断の際は、パネルがはねないように当て板で押えてください。

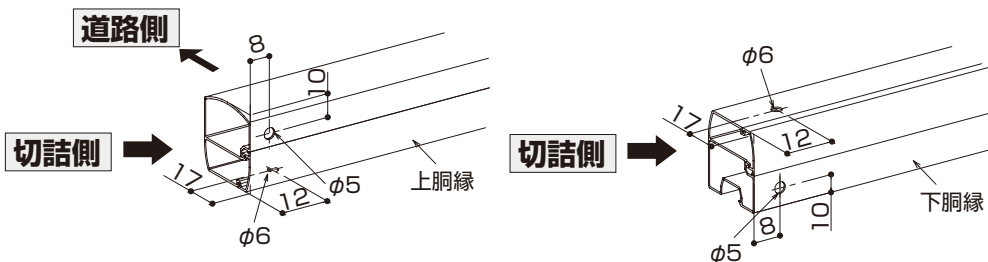
#### ポイント

切詰め後、端部カバー取付のため、下図のA寸法が16.5mm以上になるように切断長さを決めてください。



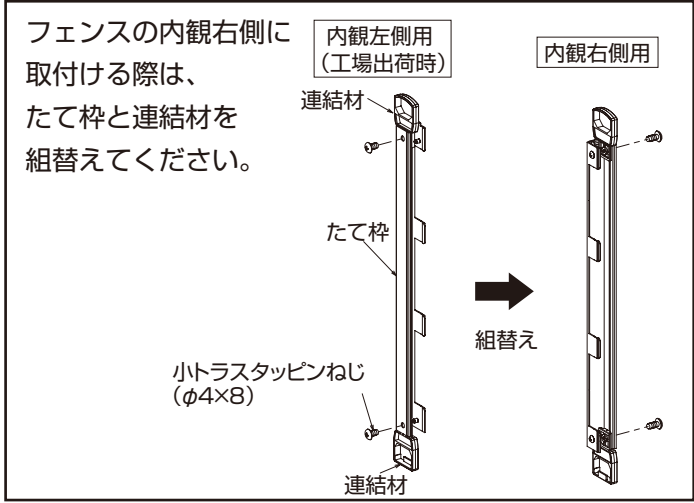
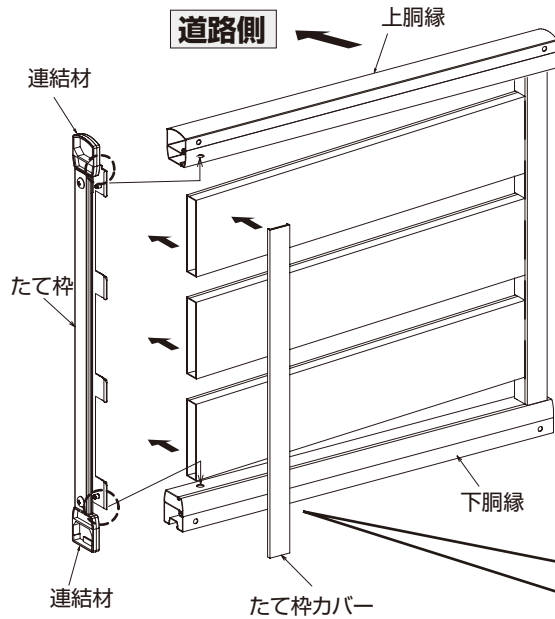
### 2 本体の加工

切詰め側の上下胴縁に穴加工(φ5、φ6)を施してください。



### 3 端部カバーの取付

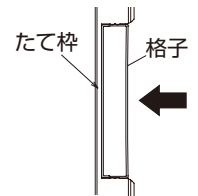
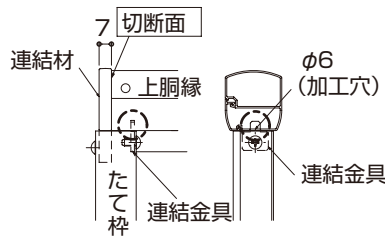
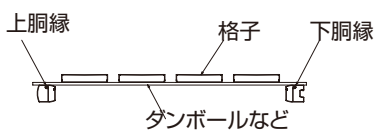
- ① たて枠と胴縁を連結してください。
- ② 格子をたて枠の切欠にあわせてはめ込んでください。



③ たて枠カバーを木づちなどでたたき込んでください。

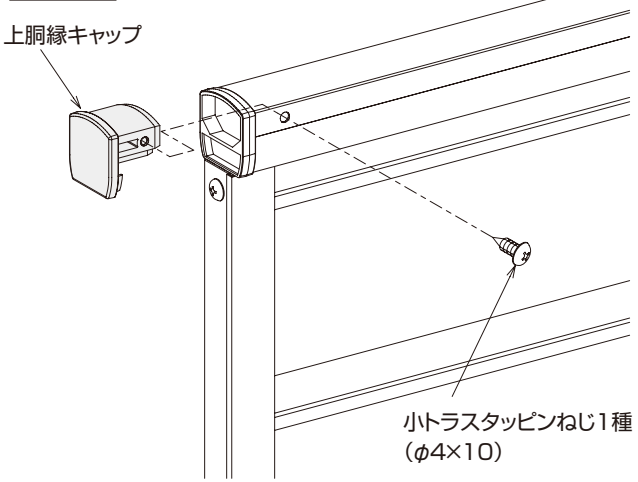
### ポイント

- 本体を横にして、ダンボールなどで格子を持ち上げると容易にたて枠が入ります。
- 連結金具の先端を上下胴縁の穴に入れてください。
- たて枠の底にあたるまではめ込んでください。固い場合は木づちなどでたたき込んでください。



### 4 連結

#### 端部



#### コーナー部

